

共生・協働のむらづくり通信

第7号

～人と自然と地域が支え合う みんなで作る農村社会～

共生・協働の^{むら}農村づくり運動



農村集落の再生



むらづくりの維持・発展



新たなむらづくりの形成



鹿児島県農政部農村振興課
鹿児島県共生・協働の^{むら}農村づくり運動推進協議会

平成25年度豊かなむらづくり全国表彰事業 垂水市新城地区公民館が農林水産大臣賞受賞



垂水市新城地区では、「人情、豊かな自然と歴史に抱かれた住みよい郷 新城をめざして」を合言葉に、桜島の降灰被害にも負けない、住民同士の絆のもと自主的で持続的なむらづくり活動が評価され、平成25年度豊かなむらづくり全国表彰事業（九州ブロック）において、「農林水産大臣賞」を受賞しました。



豊かなむらづくり全国表彰事業 九州ブロック 表彰式

【地区概要】

新城地区位置図



○新城地区の概要

- ・人口約1,170人
(537世帯)
- ・16集落で構成
- ・主な作付品目
水稲、タマネギ、サヤインゲン、
肉用牛



新城地区



農産物直売所「おたけどんの郷」

水田の有効利用と農家所得の向上を図るため、水稲裏作に耐灰品目として「タマネギ」を導入し、その産地化に取り組むとともに、住民手づくりの農産物直売所「おたけどんの郷」を地域ぐるみで運営している。

地区内の非農家等を含む地域住民で水土里サークル活動に取り組み、地域ぐるみで農地、農業用施設の保全や耕作放棄地の発生防止に取り組んでいる。

また、小学校とも連携し景観作物の植え付けなどを行っている。



水土里サークル活動

地区内の小学生、PTA、高齢者による「新城ふるさと先生グループ」を立ち上げ、地域に伝わる伝統芸能や食文化を子どもたちに継承するとともに、大正大噴火後、約100年にわたって地区の広報誌を発行し、地域住民の絆を形成している。



ふるさと先生による
タマネギの作付指導

「県知事賞」受賞地区の紹介①



県では、「共生・協働の^{むら}農村づくり運動」の全県的な取組を推進するため、地域の自主的な話し合いを基本に、他の模範となる共生・協働のむらづくりの実践活動を行っている地区を表彰し、広く県民に紹介しています。

なお、各地区の活動内容の詳細については、県ホームページで紹介しています。

※県ホームページ: ホーム > 産業・労働 > 食・農業 > 農村振興 > むらづくり > 共生・協働のむらづくり表彰 > 共生・協働の農村(むら)づくり運動表彰

平成24年度受賞地区

「若者が定住できる^{しん にし かた}地域づくり」, 「産業として自立する農業の構築」を目指したむらづくり 新西方むらづくり推進協議会(指宿市)

〈特徴的な取組〉

- ① 1ターナー者のアイデアを取り入れた地元農産物の加工品開発や、むらづくりの成果発表の場として、区民祭りを活用したパネルディスカッションを行うなどの地域ぐるみの取組
- ② 伝統芸能「士官節」の歌集作成や、伝統芸能「棒踊り」を他地区で披露するなどの継承活動や芝桜の植栽による景観改善の取組

世帯数	395戸
農家戸数	88戸
農地面積	64.4ha 〔田6.4ha 畑58.0ha〕
主な農産物	オクラ, キャベツ エンドウ, ソラマメ



区民祭りでの「パネルディスカッション」



オクラを使った加工品作り



景観作物「芝桜」の植栽

交流活動を通じて地域の活性化を図るむらづくり 石井地区むらづくり委員会(伊佐市)

〈特徴的な取組〉

- ① 女性部会などの地域内の多様な主体の連携による農産加工品開発の取組や、自主財源づくりとしての「そば」を活用したイベントの開催で地域内交流を図る取組
- ② 地域外からの協力等による伝統芸能「棒踊り」の継承・保存活動や、広報紙でのむらづくり活動の情報発信による定住・交流人口を増やす取組

世帯数	75戸
農家戸数	41戸
農地面積	55ha 〔田43ha 畑12ha〕
主な農産物	水稻, 飼料作物 生産牛



女性部会による「料理教室」



自主財源確保のための
「そば」の栽培



伝統芸能「棒踊り」の継承

「県知事賞」受賞地区の紹介②



平成25年度受賞地区

地域農産物を活用した地域ぐるみの6次産業化を中心としたむらづくり

吉利地区公民館(日置市)

〈特徴的な取組〉

- ① 食育講座や地区内の高齢者を講師とした郷土料理伝承講座、吉利物産店でのイベントの実施のほか、企業が実施するイベントの受入等で地区内外の交流促進を図る取組
- ② NPO法人のノウハウ導入や県外の先進地視察を行い、地域農産物である大豆や麦を活用した新たな加工品づくり等の6次産業化をさらに進める取組

世帯数	492戸
農家戸数	128戸
農地面積	175.3ha 〔田67.1ha 畑108.2ha〕
主な農産物	水稻,甘藷,大豆 肉用牛,酪農



郷土料理伝承講座



企業が実施するイベントの受入
(枝豆収穫)



地域農産物を活用した加工品
(なべスープ)

住民が一体となって地域活性化を図るむらづくり

中津川区むらづくり委員会(さつま町)

〈特徴的な取組〉

- ① 地区住民による「なかつこ日曜朝市」の建設・運営や、若い世代の実行委員会が中心となって行われる「イルミネーションinなかつこ」の開催など、住民が一体となった地域活性化の取組
- ② 昭和30年以降途切れていた伝統芸能「大念仏踊り」のうち「地割れ舞」を復活させる等の継承活動
- ③ 遊休農地に栽培したさつまいもを使った焼酎の製造(町内酒造会社へ委託)・販売による自主財源づくりの取組

世帯数	468戸
農家戸数	203戸
農地面積	339ha 〔田246ha 畑93ha〕
主な農産物	水稻,梅肉用牛 (子牛生産含む)



イルミネーションinなかつこ



伝統芸能の継承



焼酎用のさつまいも栽培

「県知事賞」受賞地区の紹介③



平成25年度受賞地区

地域交流施設を中心に、多様な主体と連携したむらづくり

川上校区むらづくり推進委員会(肝付町)

〈特徴的な取組〉

- ① 地域交流館「やまびこ館」における新米祭り等のイベント実施による都市農村交流の取組
- ② 住民が一体となった耕作放棄地の解消や遊歩道の整備等により、農村環境の保全を図る取組
- ③ NPO法人や地域おこし協力隊など、多様な主体との連携による地区外への情報発信や空き家を活用した定住促進の取組

世帯数	165戸
農家戸数	62戸
農地面積	96ha 〔田47ha 畑49ha〕
主な農産物	水稻野菜肉用牛



やまびこ館での新米祭り



住民が一体となった耕作放棄地の解消



住民により整備された遊歩道

これまでの受賞団体～むらづくり部門～

年度	市町村	地区(団体)	備考
19	薩摩川内市	倉野(くらの)地区	
	垂水市	新城(しんじょう)地区	農林水産大臣賞受賞
	曾於市	中谷(なかたに)地区	農林水産大臣賞受賞
20	薩摩川内市	大馬越(おおまごえ)地区	九州農政局長賞受賞
	始良市	住吉(すみよし)地区	
21	さつま町	永野(ながの)区	九州農政局長賞受賞
	曾於市	鶴木(つるき)地区	
22	指宿市	上野(うえの)地区	
	西之表市	現和(げんな)地区	日本農林漁業振興会会長賞受賞
23	日置市	高山(たかやま)地区公民館	
	薩摩川内市	黒木(くろき)地区コミュニティ協議会	
	鹿屋市	大始良(おおあいら)地区共生・協働むらづくり委員会	
	伊仙町	阿権(あごん)むらづくり委員会	

共生・協働のむらづくり活性化事業の取組紹介

県では、農村地域の過疎・高齢化が進む中、大学やNPOなど地域外の多様な主体と協働して取り組む、地域の豊かな自然や伝統芸能、食材などの地域資源を活かしたむらづくり活動を支援しています。

農村集落の課題

- 1 むらづくり活動のリーダー不足
- 2 農地・農業用施設の適切な保安全管理
- 3 農業の担い手不足
- 4 地域伝統文化の次世代への継承など

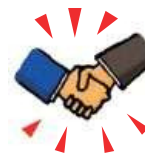
地域資源



環境・景観
地域行事
人財
農産物
農地・施設

地域外の活力

活力
ノウハウ
マンパワー



(協定)

何とかしたい!

協力しましょう!

農村集落

協働活動

[人と資源のフル活用]

(例)

大学や
NPOなど

《^{やえ}こいやま八重の会(鹿児島市)とNPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会との協働活動》

八重地区では、NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会と協働で、地域資源を生かした交流イベント等による地域の活性化に取り組みました。

地域の高校生や小学生、商工会等とも連携した、ウォーキング大会や音楽祭などを開催したほか、集落散策マップの作成を通じて、地域資源を再発見することが出来ました。

また、地域のゆるキャラ「天ガラもん」がテレビ出演やイベントへ参加するなど、地区の魅力を広くPRすることとしています。



地域資源等を紹介する集落散策マップ

《^{か れい が わ}佳例川地区自治公民館(霧島市)と鹿児島大学との協働活動》



新米ウォーキング「お茶タイム」

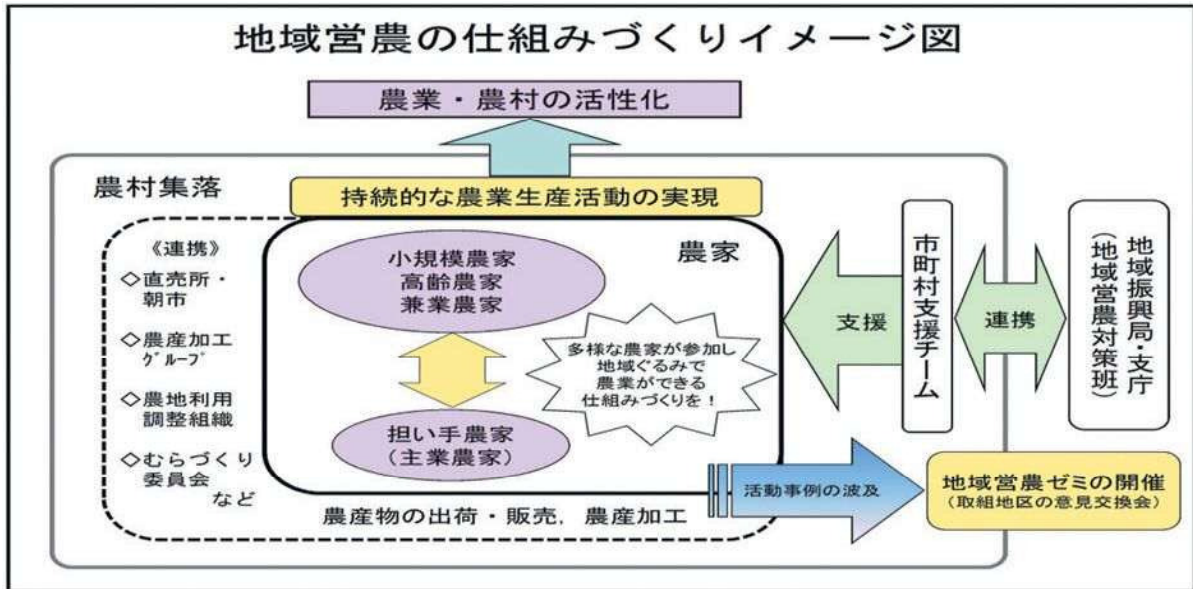
佳例川地区では、鹿児島大学の学生達が現地調査やアンケート調査を基に地域資源を生かした地区の活性化策を提案しました。

地区では、その提案をもとに今できることとして、新米ウォーキングの開催による都市農村交流や、地区で採れた稀少価値のあるさつまいも「蔓無源氏」を原料とした焼酎の販売をはじめました。

また、地元企業の(株)トヨタ車体研究所と連携して、社員による佳例川ウォーキングラリーの開催や、焼酎「蔓無源氏」の購入などによる地域支援も始まりました。

地域営農の仕組みづくり実践事業の取組紹介

県では、地域農業の維持・発展を図るため、担い手農家だけでなく、高齢農家や小規模農家など多様な農業者が参加し、地域ぐるみで持続的な農業生産活動を行う地域営農の仕組みづくりを推進し、その実践活動に対して支援を行っています。



《 嘉渡 営農生産グループ(龍郷町)の取組事例 》

嘉渡地区では、農繁期の農作業を地域で助け合う「農業応援体制の確立」を目指し活動しています。

マンゴー、パッションフルーツ、タンカン等の農家でグループを結成し、農繁期に労力を補完し合うことで適期の農作業が可能となり、収量や品質の向上にもつながっています。

農家からは「技術の情報交換やむらづくりのコミュニケーションを図る機会にもなる」との声も聞かれ、参加農家も広がっています。

今後も、持続的な活動になるよう応援体制の充実を図るとともに、販路の拡大にも取り組むこととしています。



農繁期作業を助け合うメンバー

《 中間上集落営農推進委員会(南さつま市)の取組事例 》

中間上集落では、果樹の持続的な農業生産活動を目指し農作業受委託体制の整備に取り組んでいます。

樹園地の現状把握や果樹の農作業受委託のあり方を検討するとともに、農作業の省力化を図るための農業機械実演会の開催や、みかんの消費拡大と地域をPRを図るため、消費者との交流イベント「津貫散策とみかん狩り」を開催しました。

今後は、果樹作業受託組織の結成を目指し、高齢農家の体力に応じた営農等を支援することとしています。



「津貫散策とみかん狩り」で交流

人とふれあう。自然を楽しむ。感動の農村体験！

～かごしまのグリーン・ツーリズム～



本県の豊かな食や自然などの魅力を生かして、農家民泊や農作業等を体験する教育旅行の受入れを中心に、農産物直売所や体験農園等を活用した交流などのグリーン・ツーリズムの取組が県内各地で展開されています。

グリーン・ツーリズムに関するシンポジウムが開催されました。

平成26年1月22日に志布志市で、また、1月29日に南種子町で、県内実践者の資質向上を目的としたシンポジウムが開催されました。2会場合わせて100人以上が参加し、県内実践者の取組発表や、民宿、観光と連携したグリーン・ツーリズムの可能性についてパネルディスカッション等が行われました。

このようなシンポジウムを契機に、本県のグリーン・ツーリズムの輪がさらに広がり、農業・農村がますます発展することが期待されます。



鹿児島県における体験型教育旅行の受入が2万人を突破しました！

平成25年の本県における体験型教育旅行の受入は2万人を突破し、平成20年と比較すると約10倍に増加しました。県内各地で、それぞれの地域資源を生かした農業・漁業体験、地域の伝統文化とのふれあいなどの様々な体験メニューが提供されており、また、受入農家との交流も、生徒たちにとっては貴重な経験となっています。

さらに、生徒たちを受け入れる農家等の登録件数も1千軒を超えるなど、地域が一体となって生徒たちを受け入れる態勢が構築されつつあります。



むらづくり応援隊をご活用ください！

県では、県内のむらづくり実践集落のリーダーやNPO等、共生・協働の農村づくり運動への積極的な理解と協力の得られる方を「むらづくり応援隊」として登録し、農村集落へ紹介しています。応援隊自身の経験や知識等に基づく、むらづくりのノウハウの提供等により、むらづくりの課題解決や話し合い活動を支援しています。

むらづくりに関する情報提供・相談窓口

県では、農村集落が主体となって取り組む活動等の情報を本誌や新聞、ホームページ等で紹介しています。あなたの地域のむらづくり活動情報の提供など共生・協働のむらづくりに関することは、最寄りの市町村役場または各地域振興局・支庁農政普及課へお問い合わせください。

共生・協働のむらづくり通信 第7号(平成26年3月発行)

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL:099-286-3108(直通)

鹿児島県ホームページ(むらづくり, グリーン・ツーリズム)

<http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/index.html>

